

少子高齢化、財政難時代の今後の町政について

町長…安全・安心の町づくりが私の責務



遠藤 宏司 議員



元気いっぱい（横山小学校）

暮らしを守るための財源や補助金の確保の考えは

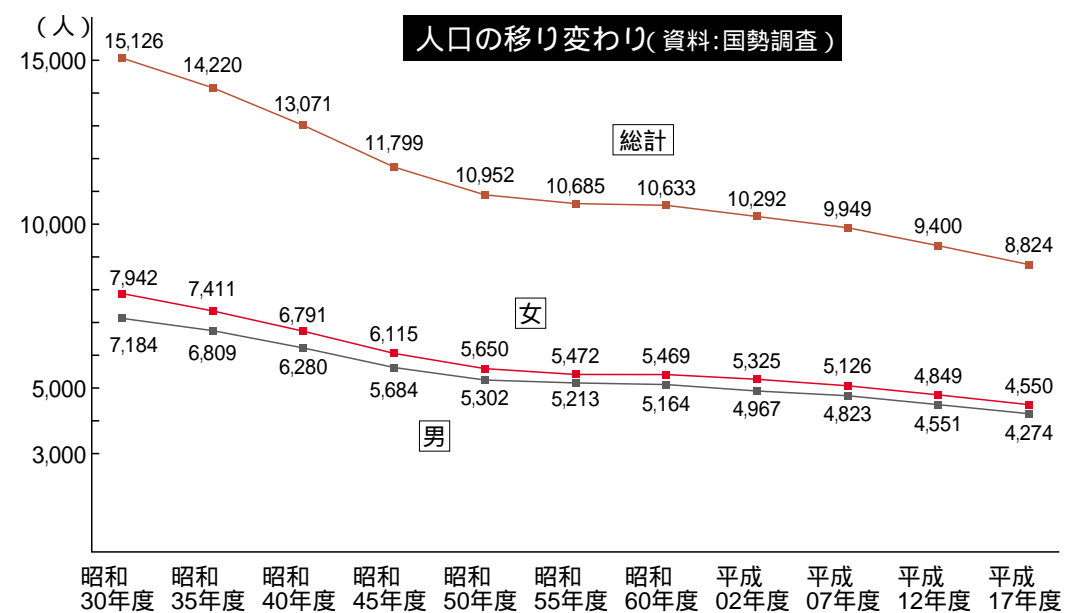
集落が消滅するまでの急激な少子化・高齢化が進み、さらに当町は豪雪で人口が流出し減少しています。町長は子ども医療費の無料化や流雪溝整備で先進的施策を進めています。こうした施策をさらに前進させるとともに、暮らし続けられる町に住むための財源確保

負担不可能な高額な国保税は、町民の生活を圧迫

農家や商工業の方の収入が減っており、国保税を引き下げるのが当然ではないか。ところが国が国庫負担を減らし、国保税は増額するばかりです。国保の滞納者は全国で20世帯に1世帯と異常事態です。国や県に市町村国保への支出を増やさせるなり、基金を活用し国保税を引き下げなければ、町民の医療を守れず、国民皆保健の制度が崩壊するのではないのでしょうか。

について、町長の考えをお伺いします。

町長 人口を確保し、町を存続していくための、直ちに効果を出せる施策はありません。総合的な政策の展開で安全・安心の町づくりが私の責務と考えます。国の交付税や補助金は減額傾向ですが、必要な事務事業は推進します。自主財源確保に努め、国や県への要望活動にさらに努力します。



得及び農業所得の低迷で国保の課税額が減額し、基金2200万円を取り崩し財源補填した。今年度も5000万円の基金取り崩しが予想され、基金が枯渇しかねません。今年度は税率引き上げを見送りましたが、引き下げは不可能で、今後の税率は慎重に検討します。



町の宝（ふたば横山保育園）



高橋 徹 議員

我が大石田町の農業の将来はどのようになるのか。

町長 財源確保が難しく、第2子、第3子の増額について、金額は約束できないが任期中には実現します。

出産祝い金を第一子に5万円、第二子に10万円、第三子に15万円と公約しているが、いつ実施するのか。

町長 社会的条件の変化もあり、国でも施策を施しているが効果が上がらないことで、なかなか難しい問題であり、私のほうが聞きたいくらいです。

転作奨励金が廃止になつたら耕作放棄地（荒地）が多くなると思う。ソバの栽培を今以上に奨励すべきと考えます。

町長 意欲に燃える農業経営者の育成に努力しつつ、国の政策に従い動向を見据えつつ、農事実行組合など各種農業団体などを通じて農事座談会を開催して説明を行ってききました。農家の方々もある程度分かってくださったと思っています。

産地作り交付金（転作奨励金）の存続を国にお願いしており、三カ年間継続が決まっております。

高齢者家庭、身体の不自由になられた方々への対策は万全か

法の改正により、自己負担が多くなっています。



そばの花（来迎寺地区）

医療機関や施設を利用している人、介護が必要なおも困っていると聞くが。

町長 町の高齢化率は今後益々高くなり、重要な課題です。介護が必要と認定された人が昨年より20人多くなっています。自己負担が多くなっている点もあるが、今のところ不満の声は少ないです。老人ホームなど施設の待ち

機者が49人いますが、他の市町村に施設が増えたので減る見込みです。年金だけで利用できない人には生活保護の制度で対応していきます。

身体の不自由な人と健常者との交流の場をつくってほしいという声もあるのだが。

町長 聞いております。検討します。

人口増加策の秘策はあるのか

町長：貴方に聞きたい。